

## 会 議 記 録 ( 概 要 )

高松市附属機関等の会議の公開および委員の公募に関する指針の規定により、次のとおり会議記録を公表します。

会議名	高松市総合都市交通計画推進協議会 平成 25 年度第 1 回市民啓発部会
開催日時	平成 26 年 1 月 16 日 (木) 10 時 00 分～11 時 00 分
開催場所	高松市役所 4 階 会議室
議題	・公共交通利用促進施策等について ・公共交通利用促進条例等の広報について
公開の区分	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 一部公開 <input type="checkbox"/> 非公開
上記理由	—
出席委員	松木部会長, 宮本副部会長, 川上委員, 前谷委員 (代理: 関), 野口委員, 滝川委員, 森本委員, 岡田委員, 山田委員 (欠席委員 1 名: 土井委員)
傍聴者	0 人 (傍聴席: 5 席を確保)
担当課および連絡先	交通政策課 087-839-2138

### 審議経過及び審議結果

次のとおり、部会を開催した。

(部会長)

本日は、部会員のうち過半数以上の方が出席しているため、高松市総合都市交通計画推進協議会条例第 7 条第 4 項において準用する第 6 条第 2 項の規定により、会議は成立する。

#### 1 議事の協議について

(1) 次の議事について協議し、下記の結果となった。

- ・公共交通利用促進施策等について
- ・公共交通利用促進条例等の広報について 【事務局より説明】

以後審議

(部会長)

意見、質問などがあれば、お願いしたい。

(委 員)

3 月より運行を予定している県立中央病院線や、太田駅サンメッセ線といったフィーダー路線については、100 円割引により実質無料となる。特に学生の利用により、若い人たちを中心とした口コミから、更なる利用の機会につながることを期待する。

(委員)

学生には、現状、料金面等で公共交通に利用抵抗があるものの、今回の制度が利用につながるきっかけとなると期待される。

(委員)

I r u C a を知らない人がまだまだ多い。若い学生は比較的利用しているが、高齢者はまだまだである。

(副部長)

I r u C a の購入支援や、切符で利用されている方への割引制度も検討されたい。

(委員)

バスのみ利用の方がメリットがあると感じている方もいるので、単純に乗り継ぎの方がお得といった表現でよいのか疑問である。

(委員)

単純にバスの乗客が鉄道に振り替わるのではなく、総じて公共交通の利用者が増加するよう期待する。

(副部長)

定期 I r u C a がある電車の利用者にはメリットが多いことから、バスの利用者にも不公平感を与えないよう、今後の制度改善も検討いただきたい。また、制度のキャッチコピーも検討されたい。

(事務局)

バスのみだけでなく、鉄道利用との連携による選択肢が広がるといったメリットを P R してまいりたい。また、今後の利用状況を分析する中で、より便利なものとなるよう調整してまいりたい。

(委員)

電車とバスの乗り継ぎ時間に配慮が必要である。

(委員)

時間価値の高いサラリーマンに対しては、金銭的な比較だけでなく、時間的な比較も P R すべきである。

(事務局)

時間帯によって乗り継ぎ等に要する時間が一定でないことから、誤解を招く恐れがあり、今回は掲載していない。今後とも、乗り継ぎに係るダイヤ調整や、利用状況を踏まえ、更なる利

便性の向上につながるような取組を進めてまいりたい。

(委員)

利用環境の改善として、乗り継ぎの場所にベンチ、雨よけの整備を進めていただきたい。

(部会長)

中央通りで多く見受けられるが、どこが設置しているのか。

(委員)

広告付きの高機能バス停であるが、景観面に対する配慮も行い、広告事業者が設置、管理、運営している。また、中央通り以外では沿線事業者等の協力により、別途設置予定である。

(事務局)

今年度よりバス待ち環境の整備に補助制度を設けており、その活用により整備が進んでいくよう関係者に働き掛ける。

審議終了

## 2 その他

### (1) 多核連携型コンパクト・エコシティ推進用映像上映

(事務局)

今後、コンパクト・エコシティ推進に対する市民への理解・協力を得るため、本映像等を活用しながらPRに努めてまいりたい。また、各委員におかれても、機会があればPRに協力いただきたい。

(副部会長)

ホームページが閲覧できない方へのPRのため、コミュニティセンター等で見られるようできないか。

(事務局)

コミュニティ協議会を通じて、こちらから積極的にPRできる機会を設けていただくよう調整してまいりたい。

(委員)

ホームページ以外でも拝見した。今後もSNS等の活用により、幅広くPRされたい。

(事務局)

フェイスブックへも掲載されており、そうした広がり期待し、今後とも、多角的にPR

してまいりたい。

(2) 事務局より次回合同部会等について説明

次回合同部会の開催については、日程調整して連絡させていただく。

閉会

以 上